

科目名:ブランディング演習

No.	到達目標	評価基準				
		S 極めて高い水準で達成している	A (高い水準で達成している)	B 標準的な水準で達成している	C 最低限の水準で達成している	D (未達成である) 1つでもあてはまれば不合格
1	自身の成果物をブランディングに関する知識を用いて簡潔に説明できる。(C-2)	ブランドの核心的な要素や市場動向に関する専門的な知識を基礎に、斬新で説得力のある説明が簡潔にできる。	ブランドの理念や目標、市場動向に対する専門的な知識を深く理解し、説明に説得力がある。	ブランドの理念や目標、市場動向に対する専門的な知識を理解し、説明に一定の根拠がある。	ブランドの理念や目標を基本的に理解し、説明できる。	ブランドの理念や目標について十分な理解がなく、説明ができない。
2	主体性をもって作業に取り組み、自身が納得のいく成果物まで作り上げることができる。(C-2)	自分の狙いを明確にし、自ら計画的に作業に積極的に取り組み、完成度の高い成果物を作ることができる。	自ら進んで計画を立て、継続的に努力し、自信が納得できる成果物を作ることができる。	指示を受けてから基本的な計画を立て、それに従って成果物を作ることができる。	与えられた課題に対して作業に取り組み、成果物を作ることができる。	与えられた課題に対して主体性を示すことができない。
3	独自性や新規性のある成果物に取り組み、説明ができる。(C-2)	成果物が独自性や新規性に富んでおり、その部分を明確かつ論理的に説明できる。	成果物に独自性や新規性を示す部分があり、その理由を十分に説明できる。	成果物に独自性や新規性を示す部分があり、その理由を説明できる。	成果物の独自性や新規性を示すことができる。	成果物の独自性や新規性を説明できない。